

こらっせ便り



2019年9月12日

【編集・発行】「福島子どもこらっせ神奈川」

TEL : 045-353-9008

Eメール : info@korasse-kanagawa.org

炎天下、第8回リフレッシュプログラムを実施

2019年の「福島子どもこらっせ神奈川」のリフレッシュプログラムは、8月5日～7日に山北町で実施しました。これまで宿泊していた丹沢荘が閉鎖されたため、今年はバーデンライフグループ研修センターで実施しました。3日間とも猛暑でしたが、楽しく過ごすことができました。

「リフレッシュプログラム」は今年で第8回となります。今回は小学3年生から6年生まで28人が参加しました。運営は学生14人・学生OG2人、大人ボランティア18人が協力して担い、山北・三保小学校5人の生徒さんとの交流もありました。学生OGの大町奈津美さんも参加していただきました。男性は隣の魚山亭で宿泊。食事はWE21 藤沢と花もめんに担っていただきました。水遊び、ゲーム、花火、バーベキュー等を行い、3日目には横浜みなとみらい地区の散策もしました。別れ際に見せた子どもたちの顔には楽しさがあふれていました。賛同お願いのチラシができましたので同封いたします。お友達に渡していただければ幸いです。

2019年度 神奈川リフレッシュプログラム

日時		場所	プログラム
8月5日(月)	午前	いわき駅	いわき駅(特急ひたち) - 東京駅 - 小田原駅(特急踊り子) 小田原駅 - 中川温泉(山北町バス)
	午後 夜	バーデンライフ研修センター着 研修センター・魚山亭泊	オリエンテーション、ゲーム ウェルカムパーティ 花火大会など
8月6日(火)	午前	三保小体育館	体育館で遊び
	午後 夜	河内川 丹沢湖ロッヂ 研修センター・魚山亭泊	川遊び バーベキュー・キャンプファイヤー
8月7日(水)	午前	研修センター出発 横浜みなとみらい着	横浜みなとみらいへ(山北町バス)
	午後 夜	みなとみらい周辺 桜木町駅出発 いわき駅到着後解散	散策・遊び・ショッピング 桜木町駅 - 品川駅 - いわき駅 (特急ひたち)

「スーパーひたち」でいわきを出発、午後、山北町の研修センターに到着、ゲーム、ウェルカムパーティー、花火大会

1日目(8月5日)

班の垣根を超えた活動

今年は3度目のリフレッシュプログラムと5回の檜葉の学童支援に参加したこともあって、子どもたちのほとんどと面識がありました。特定の班に加わらなかったのが密とは言えなかったのですが、全体を俯瞰しながら子どもたちと接することができました。

3日目の横浜散策でも複数班合同で行動しているところが多く、班の垣根を超えた活動が見られました。今回は子どもだけでなく事務局の方々とも多く関わらせていただきました。いろいろな人の想いや考えを統合することの難しさや活動をともにすることの面白さを改めて実感しました。(熊谷健太)

ウェルカムパーティーでは司会役で、来賓の方々とお話させていただきました。こらっせが多くの人達の支援があつて活動することが出来ているのだと改めて感じました。食事をたくさん用意してくださって子ども達がおいしいと言いながら何回もおかわりをして食べている様子を見ることが出来ました。

また今回は班を持たず全体の進行を行いました。子ども同士あるいは子どもと学生ボランティアが楽しく話している姿を見て、改めてこらっせ活動の素晴らしさを感じた3日間でした。(内海克也)



ウェルカムパーティーでは湯川山北町長が挨拶

キラキラと輝いていた夏の3日間

私の予想を遥かに超えて素晴らしいもので、こんなにキラキラと輝いていた夏の3日間はいつ以来かと感じました。3日間で学んだ大切なことは、子どもが自然で遊ぶ環境の必要性です。笑顔がたくさん見られたことが非常に印象的です。ちょっと残念だったのは、山北っ子は、都会の小学校には中々見られないような強いつながりがあるせいか、福島っ子と打ち解けるまでに時間がかかりました。山北の自然を福島っ子に紹介する機会をつくるとか考えればよかったと思います。(正田翔己)

三保小学校子どもたちと合流後、三保小学校体育館でお遊び。午後は川遊び後に丹沢湖ロッキに移動し、バーベキュー、キャンプファイヤー。

2日目(8月6日)

試行錯誤で企画

子どもと触れ合ったり話したり遊んだりすることは、とても楽しいことだとこの3日間で再確認することができました。横浜散策や川遊び(毛虫に刺されはしましたが)、キャンプファイヤー、花火大会など様々な楽しめる企画を、先輩方や企画の担当者のユニークな発想やアイディアで、より子どもたちと触れ合える楽しいものにしてくれたおかげだと考えています。私は、体育館遊びを重点的に考え、様々な企画を試行錯誤して本番を迎えました。連携体制が不十分で、少し強引に進めてしまったという反省点はありますが、タグラグビーや障害物競争を全力で山北町の子どもたちとともに福島の子供たちも遊んでくれていて、とても充実した時間となりました。(山口晴大)

今年は6年生女子の班に付かせていただきました。最後の年だから記録に残したい!と移動中の車内でも山北の景色や友達との思い出を写真に収めている姿が印象的でした。中学生になっても楽しい3日間だったと彼女たちの中に残ってくれていれば幸いです。

担当だった体育館遊びでは、三保小学校の子どもと一緒にタグ鬼ごっこや障害物リレーなど体を動かす遊びを行いました。非常に暑い中でしたが休憩をとりながら元気いっぱい遊び、他の班の子どもや学生とも仲良くなれた時間でした。(坪井香澄)



お昼は美味しい手作りカレーライス

2回目の参加でしたが、期待以上に楽しかった3日間でした。私のことを覚えてくれた子どももいて、嬉しさや再会の喜びとともに、1年間の成長を感じました。私は川遊びの担当でしたが、子どもと一緒に水を掛け合ったり、ゆっくり流されてみたりと、普段できない遊びは私自身の思い出にもなりました。一方で川遊びは危険が伴うということも実感しました。学んだことを来年以降に活かしていこうと思います。(青木愛美)

自分が少しずつ変わっていく

今回が3回目の参加ということもあり、子どもの成長を感じました。福島っ子には、いつも神奈川に来てくれてありがとうという思いもこめて、全力で楽しんで欲しい思いで取り組みました。このようなプログラムが続くことで、福島と神奈川の結びつきが強くなり、



炎天下で思い切り水かけ

これから共に支え合える関係に繋がれば嬉しいです。また、福島っ子のために様々な人々が集まり、よりよいリフレッシュプログラムにしていこうという熱意に刺激を受けました。自分にどこまでできるのか、どのような貢献ができるかを考えることは少し難しいですが、毎年のリフレッシュプログラムで自分が少しずつ変わっていくことを感じます。(柴田一樹)

自分の担当の子どもたちと会った時は、少し余裕がなかったのですが、花火や自由時間では新しいトランプのゲームを教えてもらったり、楽しく過ごすことができました。2日目の川遊びでは流れの早いところでウォータースライダーみたいにして遊んだことが印象的でした。バーベキューでは、子どもたちが率先して野菜やお肉を置いたり、裏返したりしている姿が見られました。みなとみらい散策で、子どもたちが食べたいと言ったパンケーキを食べたり、ディズニーストアやポケモンの特設コーナーで楽しそうに買い物をしていて微笑ましく思いました。最後の見送りでは、ずっと一緒に行動していたので、思い入れもあってすごく悲しくなっていました。(木山玲実)

子どもと触れ合う楽しさ

2回目のリフレッシュプログラムへの参加でした。去年は初めての参加でわからないことだらけでしたが、今年は前回の経験を生かし、より子どもたちと関われ、また楽しんでもらえたと思います。私はキャンプファイヤーの進行を担当させて頂きましたが、レク、学生の出し物など、比較的スムーズに行え、また子どもたちにも楽しんでもらえたかなと思います。しかし、詰めが甘いところもあったので、反省はしっかりしていきたいと思います。来年は自分たちが学生の中心になるので、しっかりやり遂げたいと思います。(太田裕貴)

朝食後、研修センターを出発、バスで横浜みなとみらいへ移動。到着後、グループごとに散策、品川駅から「スーパーひたち」でいわきへ。

3日目(8月7日)

子どもたちも3日間で変わった

リフレッシュプログラムに参加して、よかったと思うことがたくさんありました。まず子どもたちと近い距離でたくさん関わられたことです。子どもたちと関わる機会はあるが、あそこまでずっと同じ子どもと一緒にいることはないのです、すごく新鮮で楽しかった。2日目の川遊びでは、自分の班ではない子どもとも、たくさん話したり遊んだりできました。川遊びは、子どもたちが心から楽しみながら遊んでいるのが見てとれました。私は子どもの笑顔が大好きなので、そういう表情が見られたことは本当によかったと思います。

また、子どもたちの成長を垣間見ることができました。プログラム中はわがままだなと感じた子どもたちが、散策でジェットコースターに乗るかどうかが話し合った時、乗れない子がいるならやめようと子どもたちたちから発言があったのです。この3日間で何か変わったのかもしれないと感じ嬉しく思いました。(赤崎夏希)



みなとみらいではポケモンに会えた

震災や教育について学んだことは多い

昨年までは3、4人で構成される班ごとに部屋が分かれていたので、班のメンバーでいる時間が長く、自由時間も班のメンバーで遊んでいることが多かったのですが、バーデンライフ研修センターでは、女子全員が一つの大部屋に泊まる形だったので、他の班の子とトランプをしたりお喋りをしたりと班の枠を超えた交流が多く見られました。去年とは違う新しい環境で、良い刺激になったのではないかと思います。私は3回目の参加でしたが、毎年、プログラムの3日目に「プログラムが終わるのが寂しい」「来年も絶対行く!」という声を聞き、喜びを感じています。この3年間で震災や教育について多くのことを学び、考える事が出来ました。(古屋結麻)

最先端の科学技術に興味を持つ子も

初めてのリフレッシュプログラムの参加でした。私は3日目しか参加できませんでしたが、みなとみらい散策で子どもたちとたくさん関わることができました。最初に行った三菱みなとみらい技術館では、子どもたちは最先端の科学技術に興味を持って展示物を見て



思い切り手を振ってお別れ

いました。また、ウォークラリー形式でのクイズをとっても楽しそうに解いていました。コスモワールドでは、ジェットコースターが楽しかったようでたくさん乗っていました。

子どもたちは、ご飯を食べたりショッピングしたり遊んだりとてもみなとみらい散策を満喫していました。子どもたちと会うのは初めてでしたが1日を過ごす中でたくさんお話したことで、初めて会ったとは思えないほど交流を深めることができました。

大変思い出深い一日となりました。来年も是非参加させていただきたいです。(大淵桜子)

今回初めてこらっせに参加させていただきました。この3日間の様々な活動を通して、子ども達の色々な表情を見ることができ、この活動に参加して良かったと心から思いました。特に川遊びでは、楽しみにしている子が多かったこともあり、子ども達のキラキラの笑顔をたくさん見ることが出来ました。このリフレッシュプログラムを通して、子ども達はこの活動をとっても楽しみにしているということに気がきました。出会って数分で「〇〇が楽しみなの!」「こらっせ楽しいから今年も来たよ!」など様々な話をしてくれたり、お別れをする時には「来年も絶対来るよ!!」と言ってくれたりと、こらっせが子ども達の夏休みの楽しみの一つになっていることを嬉しく思いました。私自身も、この3日間は子ども達とたくさん関わることが出来てとても楽しく、教員を目指していることもあり学ぶものが多くありました。(二宮朱里)

帰りの電車の中もおしゃべり

毎年恒例のみなとみらい散策では、ランドマークタワーの展望台に昇った後で班別の自由行動の時間となり、ある班は三菱みなとみらい技術館へ、またある班は先に昼食をとったりと、それぞれの班がみなとみらいを満喫しているようでした。楽しい時間はあっという間に過ぎ、桜木町駅から品川駅へと向かい、そこで学生たちとのお別れをしました。私は品川駅からいわき駅まで子どもたちと一緒に電車に乗ったのですが、子どもたちは眠る様子もなく、いわき駅に着くまでお友達同士のおしゃべりやゲームで楽しく過ごしました。そして無事、いわき駅に到着し全員を保護者の方のもとへ送り届けることができました。電車内でも、リフレッシュプログラムでの思い出を話している子が多く、子どもたちにとって意義のあるものになったのではないかなと感じました。(加藤柚菜)